

学校法人藤森学園
大宮理容美容専門学校

2025年度
第1回学校関係者評価委員会
報 告 書

2025年9月25日

大宮理容美容専門学校

2025年度 第1回 学校関係者評価委員会報告

学校関係者評価委員会

標記委員会を下記のとおり開催し、学校関係者評価を実施しましたので、報告いたします。

記

1. 開催日時 2025年9月19日（金）14時～15時30分
2. 場 所 大宮理容美容専門学校 会議室
 （埼玉県さいたま市大宮区桜木町四丁目9番地）
3. 出席委員（3名）
 松岡自然（理容分野の企業職員）
 株式会社銀座 課長
 吉野綾佑（美容分野の企業職員）
 美容室 k+PLUS スタイリスト
 吉田富子（卒業生）
 株式会社レイチェルガーデン 取締役
4. 出席職員（3名）
 藤森英和 （校長）
 藤森康至 （副校長）
 堀口秀暁 （顧問）
5. 会次第
 （1）開会
 校長から委員会開催の挨拶があった。
 （2）委員長選出
 委員の満場一致で、松岡自然が委員長に選任された。
 （3）議事（進行：委員長 松岡）
 ①2024年度事業報告について
 ②2024年度自己評価結果について

③学校運営に関する提案について

6. 議事内容

(1) 2024年度事業報告について

副校長が2024年度事業報告書を使って、法人の概要及び事業の概要について説明をした。

その後、質疑応答に移り、次のような委員からの質問と、出席教職員からの回答があった。

- ① 理容科の新入生が11名で少なく、また退学者が4名と多かったが何か理由があるか。

→入学者数については理容志望者数全体が少なく苦戦している。地道に募集活動を継続していく他ないと考えている。退学者は友人同士2人で入学したうちの一人が理容に対する学習意欲低下により退学し、もう一人がそれに引きずられたのが大きかったと考えている。

- ② 全体的に退学率が高かったが、理由と対策はあるか。

→入学時から理容美容を勉強しようとする意志が弱かったと思われる入学生が多かったと思われる。対策としては、入試の段階で学習意欲をよく見極めて可否に反映させること。また入学してからは学習意欲が低下したと感じたら、早めに面談等を行うことをしていきたい。

- ③ 美容科は1月に美容師国家試験実技模擬試験を他校と合同で行ったが、それに対してどのように評価しているか。

→学生にとっては、実技試験前に大変貴重な経験を得られたと思う。その経験は国家試験の合格率向上につながったと考えている。

また他校との交流は学校にとっても、学生にとっても有意義だと思うので、今後も様々な場面で増やしていきたい。

(2) 2024年度自己評価について

顧問から自己評価の実施方法について以下の説明があった。

- ① 例年通り、全職員が全項目の評価を行うようにしたこと。

- ② 「2. 学校運営」と「3. 教育活動」を今回も重点評価項目としたこと。

- ③ 職員会議で、評価項目ごとに評価する意図と観点を説明し、意見交換を行ったこと。

- ④ 評価し難い項目については「評定不能」にし、評価数値計算からは除外するようにした。

それに対して次のような意見が出された。

- ① 自己評価の実施方法については、概ね良いと思う。

- ② 引き続き自己評価の意義と必要性を全職員に訴えてほしい。

つぎに自己評価結果について、校長が自己評価報告書をもとに説明し、副校長が補足説明を行った。

それに対して次のような意見が出された。

- ① 自己評価結果は概ね妥当で、学校の実態を反映した評価だと思われる。

- ② 教育理念・目標についての評価が低いので、そこを意識して学校運営をする必要がある。
- ③ 学生による授業評価はぜひ行うべきだと思う。
- ④ 教員研修は教員のニーズをしっかりと把握して行うべきだと思う。

(3) 学校運営に関する提案について

自己評価報告をふまえて、各委員から学校運営に関して次のような提案があった。

- ① 学校の良さを高校生たちに伝える努力をさらに継続してほしい。
- ② 校舎の老朽化に対しては、避けて通れない問題なので、そのための中期的な計画を立ててほしい。

以 上